

# できる・できる・できる

校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和3年 7月 5日

No.19

長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

## 命について考え、心に余韻を残す！

3日(土)は、教育週間の最終日で、道徳(生命の尊重)の公開授業を実施しました。朝から雨が降っていたのですが、158名の保護者の方々に、ご参観頂きました。ありがとうございました。m(\_ \_)m

## あなたはすごい力で生まれてきた

1年生では、出産は、母親と赤ん坊の二者の、共同作業で、母体の力も凄いですが、赤ん坊のもっている力も大変強いこと。赤ん坊が下界へ出たときにあげる産声は、母親と一緒に共同作業を終わって「やった、やった。」と叫ぶ声のようにも思える等、資料を通じ生きることの素晴らしさについて考えました。

参観されている保護者に、「出産の時はどうでしたか？」と質問すると、あるお母さんは、「お腹が重たくて、産まれた時は可愛い女の子でした。」や、別のお父さんからは、「産まれて時には何だか他人事で、育てていく内に実感がわいてきました。」がありました。また、別のお母さんからは、「一週間前からいつ産まれてもいい状態で、出産予定日の1日前に陣痛が来て15分で出産！」等々、出産時の話をお聞きすることができました。

## 命を見つめて ～猿渡 瞳さんの六百四十六日～



2年生では、当時、中学2年生だった猿渡 瞳さんが、小学6年生の時に、難病で医師から「余命半年」の宣告を受け、自身の闘病生活で感じたこと、学んだことを発表した弁論大会の映像を通して、生きることの大変さや生き抜くための「強い意



志」、「感謝」について考えました。

生徒たちからは、「一日一日を大切に、生きていきたい。」「誰もが大切な人。命を輝かせ全力で生きることが大切。」「僕も一生懸命に生きようと思った。」等、生き抜くことの決意ともとれるような感想を聞くことができました。

## 私と私の大切な人の生命 ～臓器ドナー～

3年生は、体育館で3クラス合同での道徳でした。リボン活動(障害者の社会参加支援、暴力根絶、エイズに対する理解・支援、児童虐待防止)を導入に、臓器移植(臓器提供意思表示カード)について様々な意見を聞き、全員で意見を交わしながら、命の尊さについて考えました。

「あなたにとって大切な人であればどうするか。」の質問で、「ドナーにしない」では、「親にももらった大切な命を渡せない。」がありました。「ドナーにする。」では、「自分も大切な人の命も大切なので受けさせる」、「ドナーを受けるのも、受けさせるのも当然。」「長生きさせたい。」でした。さらに、「ドナーにしないし、移植を受けさせない。」では、「大切な人や家族を傷つけさせない。」「移植は反対。」等の意見がありました。私と私の大切な人の生命ですから簡単に答えは出てきません。しかし、3年生は自分以外の意見を聞き、仲間との話し合いを通じ、自分の思いや考えを、しっかりと発言しました。最高学年としての凜とした姿を感じる時間でもありました。



## 命を大切にすることはどうすることだろう

「不要なペット回収車」の動画を見た特別支援学級の生徒からは、「赤ちゃん(子犬)を殺される。」「イヤだ!」「僕も涙が出る。」と、動物保護センターに一時保護されても、一定期間内に新しい飼い主が現れないときには殺傷処分されることへの悲しみを素直に表現していました。



## 命についての学びを今後の生活に生かすこと



戸町っ子の心を見つめる教育週間では、「命」について学びました。

「命」を考えるときに、どうしても避けて通ることのできないのが「生と

死」です。どちらも、命の尊さを考える上では、とても大切なことです。また、生から死に至るまでの人生の営みを通して、たくさんの人と出会い、喜びや悲しみ、楽しみや苦しみなどを繰り返しながら、その時々で、また、誰かと「命」について考える。その時のためにも、今回の教育週間は大いに意義ある学びの場になりました。

そして、生徒たち一人一人の「命」がもっともっと輝いてほしいと私たちは心から願っています。

## 心の種

今回のテーマは「星に願いを」です。

7月7日は七夕の日です。ある学級に小ぶりですが、短冊に思い思いの願い事を書いた笹が飾ってありました。ちょっとお邪魔して願いをのぞいてみると、「早くコロナが治って、BTSに会えますように」、「良い点がとれますように」等がありました。(\*^\_^\*)



中学生は、学年の発達段階に応じて、現状と将来(夢)を見つめさせながら、自身の進路を切り拓くことが求められます。本来は、厳しい見方をするならば、「他力本願」ではなく、「自分で道は切り拓きなさい!」と言いたいところですが・・・

時には、それぞれの願いが叶うようにと、星に願いをするのもいいものです。まさに、夢があつていいですね。私も願い事をしなくては (^\_^)

## よい良い戸町中を目指して

1日(木)に「生徒総会」を実施しました。今回は、第二図書室を生徒会執行部の拠点としてリモートでの開催です。総会が円滑に進むように、生徒会役員が全ての学級に補助として入りました。

議題は「専門部の再構成」、「生徒会が実施しているあいさつ運動を全校生徒に広げてはどうか」等がありました。リモートでしたが、どの学級からも根拠を元に、賛成・反対意見が出されていました。



山口生徒会長を中心に、昼休みや放課後も話し合い活動や打合せ、また、各学級での話し合いが円滑に進むように、学級委員を通じ指示や準備する姿もありました。地道な努力があつての、本日の生徒総会でした。

## 7月の育友会理事会実施

2日(金)に育友会理事会が行われました。川口会長のご挨拶等につき、各専門部活動の報告を行いました。内容は、夏祭りの中止やあいさつ運動の当番、会報誌の発行について等についてです。



また、佐藤さんからは、地域事業について、戸町みらいまちづくり協議会の活動計画やさまざまな会の取組と協力依頼がありました。さらに、育友会から体育大会種目ソーラン節(3年生)のはっぴを購入して頂くことが決定しました。ありがとうございます。